



JLVC2014

国立国語研究所

時空間変異研究系 合同研究発表会

Japanese Language Variation and Change conference

■開会の辞 10:00-10:10

■招待講演 10:10-11:40

中山 俊秀 (東京外国語大学)

危機言語時代の言語調査 —なにをどのように記録すべきか—

司会：木部 暢子 (国立国語研究所)

■ポスター発表 11:40-13:10

峪口有香子 (徳島大学大学院生・日本学術振興会特別研究員)・Abdunabi Ubul (徳島大学大学院生)

「徳島県吉野川流域方言における音声の記録と保存—言語地理学的調査の一環として—」

高山林太郎 (東京大学大学院生)「高知市方言の形容詞の促・長・撥音挿入低起式形」

竹内はるか (國學院大学大学院生)「首都圏に通う大学生の二人称代名詞に対する印象と使用実態」

徳永 晶子 (一橋大学大学院生・日本学術振興会特別研究員)「奄美沖永良部島方言の複数接尾辞」

山下 里香 (東京大学大学院生)「コミュニティ教室における小中学生児童の「ですます体」スタイルの使用

—「対人的」スタイルが対「人」でなくなるとき—

大沼 敦子 (コロンビア大学大学院生)「『国民諸君』から『国民のみなさま』へ

～お客様化するワタシ達～ 歴代内閣総理大臣の所信表明演説に見る呼びかけ語の変化」

酒井 雅史 (大阪大学大学院生)「若年層の敬語運用の類型化の試み—ロールプレイ会話データを用いて—」

白坂 千里 (大阪大学大学院生)「関西若年層の携帯メールの特徴—ロールプレイ調査における電話とメールの対照から—」

■ワークショップ 14:00-17:00

日本語調査をデザインする

—やっててよかった、やっときゃよかったことばの調査—

司会・進行：朝日 祥之 (国立国語研究所)

発表 (14:00-15:40)

相澤 正夫 (国立国語研究所)

「多人数社会調査の立場から」

大西拓一郎 (国立国語研究所)

「方言分布調査の立場から」

金水 敏 (大阪大学)

「古典文献調査の立場から」

金田 章宏 (千葉大学)

「八丈語の調査から」

ダニエル=ロング (首都大学東京)

「接触言語の調査から」

ディスカッション (16:00-17:00)

■閉会の辞 17:00-17:10

◆懇親会◆ 17:30 より国立国語研究所の2階フロアにて
懇親会を予定しております。こちらにも是非ご参加下さい。

2014
3/21 (金・祝)
10:00-17:10

国立国語研究所 講堂
(東京都立川市緑町 10-2)